＊編集後記＊

今年度も、たくさんの方々にご協力いただき、この調査報告書を皆さんのもとにお届けすることができました。レポーターの皆さん、検討委員の先生方、ご協力いただいた皆さん、誠にありがとうございました。

今年度は年度当初から新型コロナウイルス感染症の拡大のため緊急事態宣言が発令されるなど異例づくしの一年となりました。当事業も４月の説明会を中止にせざるを得ず、資料だけでは説明が足りないところもあり皆さんにはご不便をおかけした部分もあったかと思います。

行動が制約される中ではありましたが、皆さんから次々と寄せられる調査報告を拝見し、大変な状況の中でもそれぞれが工夫して観察をして頂いていること、またこの環境レポーターの活動が日常の一部になっていることを感じ、大変嬉しく思いました。

次年度もコロナウイルスの影響が続くと思われますが、私も調査に貢献できるよう、状況が落ち着いたら今まであまり報告のなかったメッシュを調査してみたい・・・と目標を立てております。また次年度こそ気になるいきものたちにも出会いたいと思い、調査ができる日を楽しみにしております。皆さんも次年度どのような生き物たちとの出会いがあるか楽しみに、ぜひ引き続き調査にご参加いただけますと幸いです。

環境レポーター事業は 2021年４月で 29年目を迎えます。今後も皆さんが自然により親しみを持って、楽しく調査できるよう工夫するとともに、皆さんの努力の結晶を郷土足利の環境保全に役立ててまいります。

令和２（２０２０）年度
こんなことがありました

令和２年度の環境に関する大きなできごとをまとめました。

６月
環境省が「気候危機」宣言
令和２年の環境白書に初めて「気候危機」という言葉が明記され、経済・社会システムや日常生活を持続可能でレジリエントなものに変革してくこと（＝社会変革）が必要不可欠と述べられました。

７月
レジ袋有料化スタート
プラごみ削減等の理由からレジ袋有料化がスタート。今ではマイバッグがかなり生活に浸透しているように思います。

７月
令和２年７月豪雨
東北地方～西日本にかけて記録的な大雨・日照不足となり、甚大な被害を受けた地域もありました。気象庁は、今回の一連の大雨について、地球温暖化の影響がある可能性を指摘しました。

８月
記録的な暑さとなる
気象庁は、８月の平均気温が東日本で平年より 2.1℃、西日本で 1.7℃高かったと発表しました。東日本については 1946 年の統計開始以来最も高い気温となりました。

10 月
2050 年
カーボンニュートラル宣言
菅首相は所信表明演説で、国内の温室効果ガスの排出量を 2050 年までに実質ゼロにするカーボンニュートラル宣言をしました。温室効果ガス削減のためのより一層の取り組みが重要となります。

2021 年１月
アメリカ、パリ協定復帰を表明
ジョー・バイデン氏がアメリカの第 46 代大統領に就任し、前政権下で離脱した 2020 年以降の地球温暖化対策の国際的な枠組みである「パリ協定」に復帰するための文書などに署名しました。

地球温暖化に関する話題が多くありました。温暖化は我々人間だけでなく、皆さんの調査からも分かるように生き物たちにも影響を及ぼします。温暖化の防止に向けて、日常生活の中でできるエコ活動に取り組むなど、ご協力をお願いします！